

都 市 ブ ラ ン ド 教 育 委 員 会 記 録 (No.25)

1 日 時 令和8年6月10日(水)
午前10時00分 開会
午前10時28分 閉会

2 場 所 第4委員会室

3 出席委員(9人)

委 員 長	高 橋 都	副 委 員 長	小 宮 けい子
委 員	宮 崎 吉 輝	委 員	吉 田 幸 正
委 員	立 山 幸 子	委 員	岡 本 義 之
委 員	山 田 大 輔	委 員	本 田 一 郎
委 員	有 田 絵 里		

4 欠席委員(1人)

委 員 宇 土 浩一郎

5 出席説明員

都市ブランド創造局長	池 永 紳 也	にぎわい担当理事	森 川 洋 一
総務文化部長	小 田 聡	観光にぎわい部長	井 上 美 紀
門司港レトロ課長	松 本 治 二	教 育 長	太 田 清 治
教 育 次 長	星之内 正 毅	総務企画部長	栗 原 健太郎
みらい学校教育担当課長	海 老 洋 太	教育研修監理官	澤 村 宏 志
中央図書館長	田 尾 弘	奉 仕 課 長	佐 藤 時 子
			外 関係職員

6 事務局職員

委員会担当係長 廣 門 実知江 書 記 吉 富 裕 二

7 付議事件及び会議結果

番号	付 議 事 件	会 議 結 果
1	審査日程について	10日は議案の審査、11日は議案の採決、請願・陳情の審査及び所管事務の調査を行うことを決定した。
2	議案第72号 北九州市教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	議案の審査を行った。
3	議案第75号 令和8年度北九州市一般会計補正予算（第1号）のち所管分	

8 会議の経過

○委員長（高橋都君） それでは、開会いたします。

本委員会に付託された議案は、お手元配付の一覧表のとおり、2件であります。審査日程については、本日は議案の審査を行い、明日は議案の採決、請願・陳情の審査及び所管事務の調査を行います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり。）

御異議なしと認め、そのように決定しました。

ただいまから議案の審査を行います。

議案第72号及び第75号のうち所管分の以上2件を一括して議題とします。

当局の説明は、できるだけ要点を簡潔、明瞭をお願いします。なお、議案の説明は着席のまま受けます。

それでは、説明を求めます。総務企画部長。

○総務企画部長 それでは、議案第72号、北九州市教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について、すいません、着席のまま御説明申し上げます。

改正の背景や理由につきましては、大きく分けて2つの内容を含んだ改正となっております。

まず1つ目は、学びの多様化学校の新設に伴うものです。

北九州市では不登校児童生徒の学びの選択肢を増やすため、令和9年4月に教育センター内に学びの多様化学校を開校する予定としております。この学校は、専任の校長を置く独立した中学校として新設し、校名を北九州市立あいおい中学校と定め、設置位置等と併せて北九州市教育施設の設置及び管理に関する条例に新たに規定するものです。

2つ目は、視聴覚センターの中央図書館内への移転でございます。

視聴覚センターの効率的な運用を図るため、教育センター内に設置している視聴覚センターを中央図書館内に移転することから、視聴覚センターの位置に係る規定を改める必要がございます。

ますので、条例を改正するものです。

改正内容につきましては、北九州市立あいおい中学校を教育センター内のある北九州市八幡西区相生町20番1号に新設、視聴覚センターの位置につきましては、八幡西区相生町20番1号を小倉北区城内4番1号に改めます。

施行期日でございますが、学びの多様化学校は令和9年4月1日、視聴覚センターの移転は規則で定める日といたします。

以上で、北九州市教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正についての説明を終わらせていただきます。よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

○委員長（高橋都君） 総務文化部長。

○総務文化部長 続きまして、都市ブランド創造局所管の議案につきまして、タブレットの都市ブランド教育委員会資料に沿って御説明をさせていただきます。

2ページを御覧ください。

議案第75号、令和8年度北九州市一般会計補正予算のうち所管分を御説明いたします。

なお、令和8年度北九州市補正予算に関する説明書の該当ページにつきましては、表の右側に記載しております。また、説明に当たり、金額は万円単位とさせていただきます。

8款3項1目観光費、門司港レトロリニューアル事業3,525万円は、九州鉄道記念館について、安全・安心で快適な施設を維持するために必要な改修を実施するものです。

以上で都市ブランド創造局所管議案の説明を終わります。よろしく御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（高橋都君） これより質疑に入ります。なお、当局の答弁の際は、補職名をはっきりと述べ、指名を受けた後、簡潔、明確に答弁願います。質疑はありますか。山田委員。

○委員（山田大輔君） どうもお世話になります。山田でございます。

すいません。まず、鉄道記念館からお伺いしたいなと思います。

3,525万円ということで、かけるものであったり負担割合があったりしているのであれば、負担割合を教えてくださいませんか。

○委員長（高橋都君） 門司港レトロ課長。

○門司港レトロ課長 今回の鉄道記念館の改修工事につきましては、屋根にある排煙窓12か所を改修工事するものでございます。費用につきましては、工事費全体で約7,000万円ほどかかりまして、所有者であるJR九州と折半で、市の予算としては半分の3,500万円ほどを計上させていただいております。以上でございます。

○委員長（高橋都君） 山田委員。

○委員（山田大輔君） ありがとうございます。鉄道記念館の建屋なんですけども、旧門司鉄道管理局の建屋ということで、かなり老朽化があると思うんですが、消防法に係る排煙窓ということで、以前からお伺いしていたんですけども、それ以外、何か老朽化であったりですか、

見当たるところはないでしょうか。

○委員長（高橋都君） 門司港レトロ課長。

○門司港レトロ課長 九州鉄道記念館につきましては所有者のＪＲ九州と協定を結んでおりまして、日々の小修繕はしておりますので、安全に快適に使っていただけるような状態にはなっております。一方で、平成15年のリニューアルからもう23年ほどたつことになりまして、基本的には機械類とか、こういった排煙窓、それから、例えば今後でいいますと、空調設備とかがそろそろ耐用年数になってまいりますので、そういったところが、今後、老朽化が進んでまいかなというところでございます。以上でございます。

○委員長（高橋都君） 山田委員、よろしいですか。ほかに意見、質問はありませんか。吉田委員。

○委員（吉田幸正君） 2つ。まず、学びの多様化学校、いろいろ議会でも出ましたのと思うんですけど、僕、場所が遠いというか、遠い方がいらっしゃるというのは事実だろうと思います。何名のアンケートうんぬんっちゅうのも、どれぐらいの方がどれぐらいの希望があって、物すごく通いたいけど距離がどうもという答えも、多分、聞かずともあるんだろうと思うんですよね。この施設に期待するのは、アクセスうんぬんっちゅうのもあるんですけど、そこでしっかり不登校の子と向き合うノウハウというか、教師のスキルというか、あるいはスクールソーシャルワーカーみたいな方、あるいは友達の作り方みたいなことも含めてしっかりと積み上げて、それを各学校の方々に共有して、個性がある子供たちだと思えますけど、こういうときにはこういうふうにしたら物すごくうまくいったとか、学校に行くことが今大前提になっていない時代だとは承知をしていますけども、子供たちの幸福度の中にお友達との関係が楽しかったというのは大事なことだと思っていますので、全小学校、中学校にノウハウを共有できるつもりで事業を推進してほしいと。もう切にお願いでありますし、また、その報告をぜひ聞いてみたいと思いますので、よろしくお願いします。これはもう要望でよいです。

それと、鉄道記念館のリニューアルなんですけども、これは工事の際には当然休館になりますよね。休館になる期間と、それと、ここは年パス、年間パスポートがあるかどうかを教えてください。

○委員長（高橋都君） 門司港レトロ課長。

○門司港レトロ課長 鉄道記念館に関するお問合せ2つについて、お答えさせていただきます。

まず、工事期間中ですけれども、休館せずに、開館したまま工事をさせていただくことになります。天井を工事しますので、壁側に足場などは組みますけれども、皆様の見ていただく展示には影響ございませんし、安全に御通行できるように配慮した上で工事を進めさせていただきます。

もう一つ、年間パスポートですけれども、鉄道記念館については現在は導入してございませ

ん。以上でございます。

○委員長（高橋都君） 吉田委員。

○委員（吉田幸正君） これ、工事が今度の議案ですからそれにかけているつもりなんですけども、空調設備やります、2週間止めます、ほかのところは触らないので、空調が直りました、であっても、お客様からすると、何かリニューアルっちゅうのは楽しい言葉なので、何か新しくなったらいいなと思うんだろーと思ったんですが、今回は、営業しながらというんですけど、常に何か新しい設備の導入みたいなことには気を張ってほしいなと思いますし、到津の森でいますと、遊具みたいなというのは税金で投入しているわけじゃなくて、管理している事業者が置いて、その収入を施設にも払うし、その収入でまた新しい遊具というか、いろんなエンタメの招致をするということで、市は1円も税金を使わず、収入と来場者を増やしているというスキームがありますので、よくよく検討してほしいと思いました。

それで、あとは、〇〇推し課とかZ世代課とか、多分いろいろ鉄道以外の方々の目線が大事になってくると思いますので、そういう一体の取組をしてあげてほしいなと思います。

エアコンが効くようになってお客さんを増やしてほしいなと思いますけど、今、市長の方針もあって、観光客からたくさんのお金を取ろうというか、小倉城も値段が上がったり、門司港レトロの展望台も値段が上がったりという背景があります。僕はそのことで市の収入を上げるのは大賛成でありますけども、同時に市民のライフスタイルの向上にもつなげてほしいと思ったんですね。レトロのハイマートの展望台の話をする、300円が600円になりましたと。ただ、日々、日常、あそこの景色を見ながらコーヒーを飲んでいる方々が結構いらっしゃって、300円ぐらいなら、あそこでケーキとコーヒーがあるんですけど、実は安くなっている背景っちゅうのはあるんですけど、大体年間フリーパスって、3回行ったら元を取れるぐらいが基準みたいなイメージなんですよ。だから、最初に300円なら900円払っとくと、私はいつでもそこに行けて、日々、日常、そこで美しい景色を見ながらコーヒーを飲むライフスタイルというのは、我々の町には大事だと思いましたし、同時に、到津の森の友の会とか、いろんな制度を持って、物すごく日常的に遊びに行く人たちというのが一定層いらっしゃる、年間パスポートみたいなことも、これを機会によくよく検討してもらって、これはもう市内全体と思っていますが、そういうことで、観光客からはたくさん頂くというか、楽しんでもらうためのそれをする。同時に、この町で暮らす人たちのライフスタイルの向上というのは、僕は年間パスポートって一つの話だと思いますから、また、どこかで聞くかも分かりませんが、観光施設全体を含めて、いい事業を進めてほしいなと要望して、終わります。以上です。

○委員長（高橋都君） ほかに。有田委員。

○委員（有田絵里君） よろしくお願ひします。有田です。

学びの多様化学校について教えてください。

学びの多様化学校も令和9年4月開校ということなんですけれども、もう来年に向けて、今、

着々と準備を進めていただいていると思います。その中で、今後、2,000人以上いる子供たちに対して、この学びの多様化学校、各御家庭には既に広報ってスタートしていらっしゃるのでしょうか。もう来年ってということで、どんどんニュースとか、話題には上がってきていて、気になられている保護者の方もいらっしゃるので、ぜひ、今の広報情報とかを教えてください。

○委員長（高橋都君） みらい学校教育担当課長。

○みらい学校教育担当課長 お答えいたします。

今の周知状況ということだったんですけれども、令和9年4月に開校するということにつきまして、検討会議でこれまで基本計画を策定していくということも含めて議論してまいりまして、基本計画の策定と、あとパブリックコメントの募集ということもその過程でやってまいりました。そういった関係の情報は、これまでもお示しをしてきているというところがございます。それと、今具体的に、生徒募集の関係の詳細ということを詰めているというところがございますので、そういったものが整い次第、しっかりと市民の皆様に向けての周知、広報ということをしてまいりたいと思っております。以上でございます。

○委員長（高橋都君） 有田委員。

○委員（有田絵里君） ありがとうございます。既にたくさんの不登校の子たちがいらっしゃる、その御家庭の方々も、来年に向けてどういうふうにご子供たちと向き合いながらやっていかないといけないのかっていうのを考えていらっしゃると思うんですけれども、いつ頃広報されるとかっていうのは予定もまだ全然決まっていない。何かそれに向けてっていうことですが

○委員長（高橋都君） みらい学校教育担当課長。

○みらい学校教育担当課長 お答えいたします。

改めて、また、周知広報ということでのタイミングということで申しますと、今申し上げたことと繰り返しになってしまいますけれども、生徒募集のある程度大枠、中身というところが決まったところで、しっかりともう一度お知らせをしていくというところかなと思っております。具体的な時期でございますけれども、一応今の想定では、夏から秋にかけてというところで、そのあたりの情報というものを取りまとめた上で、お示しをしていくということかなと思っておりますので、そのタイミングで、また、しっかりと全市的な周知をさせていただきたいと思っております。以上でございます。

○委員長（高橋都君） 有田委員。

○委員（有田絵里君） ありがとうございます。情報に関しましては分かり次第いただけたらありがたいと思います。周りにも不登校の御家族の方とかが何人かいらっしゃいますので、そういった情報が、どうなっているのかというのは聞かれることがあるので。この間、宇土議員は、なかなか遠いからということだったんですが、小倉南区であっても、いろんなエリアで気にされていらっしゃるということもありますので、お願いいたします。

ここからは要望なんですけれども、不登校の御家族って、子供さんがそもそも学校に行っていないので、チラシ広報は難しいと思うんですよね。できればなんですけれども、しっかり、t e t o r uとか、スマホを使つての周知をまずは行ってほしいということ。基本的には、親御さん、保護者の方には、t e t o r uを入れることを前提に周知されていらっしゃると思います。ぜひ、まず親御さんが100%ちゃんと入れているかどうかという確認ですね。各御家庭が入っていなかったら届きませんので、各教室ごと、学年ごと、全て100%入れているかどうかというのを御確認をぜひいただきたいということと、恐らくt e t o r uって、教育委員会の皆様からお知らせを流していらっしゃるというところもあると思いますので、ぜひ、チラシだけでなく、そういったSNS等々も使っていただいた上での、全家庭にしっかり届くような方法での周知というの、ぜひお願いできればと思います。

今から開校するってということで、ただ文章だけでお送りいただきますと、なかなか、文章だけがどうしても出てしまいがちだと思うんですけれども、何か想像しやすい広報の仕方というか、こういうものを目指していますよとか、こういうふう子供たちが笑顔になってくれるような、みんなで過ごせる環境を目指していますとか、例えば、ほかのこういった学びの多様化学校では、こういうふうにご覧していらっしゃる方もいらっしゃいます、北九州市でも、こういうふうな子供たちを増やしていきますので、一緒にぜひってような、子供たちも親も想像しやすいような、絵とか画像をうまく使つてのチラシづくり、もしくは広報の仕方っていうのを、ぜひお願いできればと思います。これは要望とさせていただきます。以上です。

○委員長（高橋都君） ほかに質疑はありませんか。立山委員。

○委員（立山幸子君） よろしく申し上げます。今回の鉄道記念館のリニューアルということで、観光の振興に要する経費ということなんですけれどもごめんなさい、勉強不足なんですけど、具体的にどのような形で変わっていくのかということと、また、観光の振興ですので、集客をもっと増やしていこうという目的があるんだと思うんですけれども、そういったことがしっかりつながっていくのかっていうことと、あともう一個、授乳スペースっていうのがあるのかどうかをお聞きしたいと思います。

○委員長（高橋都君） 門司港レトロ課長。

○門司港レトロ課長 鉄道記念館に関しまして3つほどお尋ねいただきましたので、順次お答えさせていただきます。

まず、今回の補正予算の具体的な内容なんですけれども、鉄道記念館の屋根に、火災が起きたときに煙を逃がすための排煙窓というものがございます。こちらが12個窓があるんですけれども、こちら、平成15年にオープンしたときに作ったものなんですけれども、こちらが20数年たって老朽化しておりますので、それをリニューアルというものでございます。ですので、直接集客につながるというものではございませんけれども、来ていただけるお客様には安全・安心に過ごしていただけるために必要な施設かなと考えてございます。

3つ目、授乳室ですけれども、現在のところ、鉄道記念館には授乳室はございません。以上でございます。

○委員長（高橋都君） 立山委員。

○委員（立山幸子君） 鉄道記念館は子供がたくさん訪れるところなのかなと思います。家族連れの方、授乳スペースがあったらいいなと思いますので、またこういうことも検討いただけたらと思います。以上です。

○委員長（高橋都君） ほかに質疑はありませんか。

ここで副委員長と代わります。

（委員長と副委員長が交代）

○副委員長（小宮けい子君） 高橋委員。

○委員（高橋都君） 私からも質問させていただきます。

まず、学びの多様化学校の新設なんですけれども、視聴覚センターの移転ということなんです。最初に学びの多様化学校を教育センターに開校するということが決まったときに、視聴覚センターを移転させるということは最初から決まっていたことなんでしょうか。そして、その視聴覚センターのあったスペースを今後どのように使うのか、教えていただけますか。

○副委員長（小宮けい子君） 奉仕課長。

○奉仕課長 視聴覚センターの移転についてお答えさせていただきます。

学びの多様化学校ができた当初からの移転が決まっていたわけではなくて、このタイミングを見て、視聴覚センターの移転を奉仕課で決めさせていただいたという次第になります。以上です。

○副委員長（小宮けい子君） 教育研修監理官。

○教育研修監理官 部屋の活用でございますが、本来、教育センターは教員の研修をする場でございますので、そういったことにまた有効に使ってまいりたいと考えておるところでございます。以上でございます。

○副委員長（小宮けい子君） 高橋委員。

○委員（高橋都君） じゃあ、今まで視聴覚センターがあったところは、特にどういった教室に使うとかっていうことは、今まだ決まっていないということではよろしいんですかね。

○副委員長（小宮けい子君） みらい学校教育担当課長。

○みらい学校教育担当課長 お答えします。

学びの多様化学校の関係で、今直ちに用途を決めてということではございませんけれども、また開校後、そこのあたりは、ほかの教室等々もございますけれども、それらのものとの兼ね合いの中で、また検討はしていきたいなと思っております。以上でございます。

○副委員長（小宮けい子君） 高橋委員。

○委員（高橋都君） ありがとうございます。今後、公募していくと思うんですけれども、募集

したときに、1学年15人で3学年っていうことなんですが、人数が多かった場合は2クラスに増やすとか、そういったときのスペースが余分にあるのかなっていうのも気になるところなんですけど、その辺の用途について考えてはおられるのでしょうか。

○副委員長（小宮けい子君） みらい学校教育担当課長。

○みらい学校教育担当課長 お答えいたします。

実際には入学採用人数のところにつきましては、まだ今の時点で予断を持ってお答えすることとはなかなか難しいかなと思ってございます。最終的に施設をどのように使っていくかというところ、教育活動をどのように実施をしていくかというところと密接に関わってまいりますので、そのあたりは、すいません、ここも予断を持って申し上げることは難しいんですけども、子供一人一人にしっかり寄り添った教育をいかに適切に進めていくかという観点で、そのあたりもしっかりと考えていきたいと思っております。以上でございます。

○副委員長（小宮けい子君） 高橋委員。

○委員（高橋都君） ありがとうございます。それでは、鉄道記念館のことですが、これは火災のときの排煙窓ということでお聞きしました。これは平成15年に改修したときから年月がたつて老朽化したということなんですが、これまでに使われたことがあったのでしょうか。

○副委員長（小宮けい子君） 門司港レトロ課長。

○門司港レトロ課長 鉄道記念館の排煙窓につきましては、平成15年にオープンしたときに設置したものでございます。これまで火災は起きておりませんので、実際に稼働したことはございません。以上でございます。

○副委員長（小宮けい子君） 高橋委員。

○委員（高橋都君） では、ふだんは開閉はしたことはないという状況でよろしいんですよね。換気とか、そういうところでは使わないということですね。はい。

○副委員長（小宮けい子君） 門司港レトロ課長。

○門司港レトロ課長 おっしゃるとおり、ふだんの換気とかは使っておりません。定期点検が3年に一度ございますので。そういったときには開閉の作業をして点検をしているという状態でございます。以上でございます。

○副委員長（小宮けい子君） 高橋委員。

○委員（高橋都君） ありがとうございます。また、工事中は営業は従来どおりにしているということなんですが、大体工期としてはいつぐらいになるのでしょうか。

○副委員長（小宮けい子君） 門司港レトロ課長。

○門司港レトロ課長 工期につきましては、全体の工期は8月中旬ぐらいまでかかる予定なんですけれども、排煙窓自体は7月下旬には完成する予定でございます。その後、足場などを崩しますので、8月中旬までかかるという状態です。夏休みにお客様が多くなりますので、それに間に合うように、できるだけ早めに工事を済ませたいと思っております。以上でございます。

○副委員長（小宮けい子君） 高橋委員。

○委員（高橋都君） 夏休みは観光客、利用者も多いかなと思いますので、ぜひ安全に、危険のないように足場を組んで工事をされるかなと思うんですけども、工事をするのに足場を組んでいるけれど営業していますという表示をしていただけるんですよ。

○副委員長（小宮けい子君） 門司港レトロ課長。

○門司港レトロ課長 工事の足場は組みますけれども、展示には影響ありませんので、営業中という看板というか、それは通常どおりさせていただきます。以上でございます。

○副委員長（小宮けい子君） 高橋委員。

○委員（高橋都君） ありがとうございます。では、ぜひ安全に、よろしくお願いいたします。以上です。

○副委員長（小宮けい子君） ここで委員長と交代いたします。

（副委員長と委員長が交代）

○委員長（高橋都君） 小宮委員。

○委員（小宮けい子君） 先ほど授乳スペースのお話が出ていましたが、よくＪＲの駅などでユニットの分を置いてあるのを目にします。そういうものを置くということとはできないでしょうか。

○委員長（高橋都君） 門司港レトロ課長。

○門司港レトロ課長 先ほどの鉄道記念館の授乳室の件、私の説明が不足していて申し訳ございません。授乳室自体はないんですけれども、スタッフにお声かけいただければ、裏のスペースに御案内して、皆様から見えないところで授乳はしていただけるようになってございます。以上でございます。

○委員長（高橋都君） 小宮委員。

○委員（小宮けい子君） 新幹線に乗るときに、経路として都合のいいところにそれが置いてあって、ぱっと目につくから、授乳も、またおむつを替えるのも便利ってということで、鉄道記念館は子供の多いところですので、来られた方の目につくところに、ユニットの分、御覧になったことあると思いますけど、あまりスペースもとらず、入りやすいような形のもので、ぜひ検討していただきたいと思います。

すいません、もう一点。先ほど吉田委員から出ていました、学びの多様化学校、人数の少ない中でいろいろ取り組まれるってということで、ここでの成果っていうものを、教員に返していくってところは、教員の研修の中の一つとして、ぜひ入れていただきたいと思います。私は門司ですけど、門司から行くって、研修自体、教育センターへ行くのもとても遠かったんで、人数的に少ない子しかそこに行けないので、ぜひぜひそれを教員に返して、その学校に生かせるっていうこと、よろしくお願いいたします。以上です。

○委員長（高橋都君） ほかに質疑はありませんか。有田委員。

○委員（有田絵里君） すいません、関連で聞いても大丈夫でしょうか。鉄道記念館の分なんですけれども。授乳室の件です。

今はもう子供がたくさんいらっしゃるということで授乳室はないということでしたけども、赤ちゃんの駅とか、旗とかは立てていらっしゃるんでしょうか。

○委員長（高橋都君） 門司港レトロ課長。

○門司港レトロ課長 すいません、はっきりとあれなんですけれど、たしか立てていなかったと記憶しております。以上でございます。

○委員長（高橋都君） 有田委員。

○委員（有田絵里君） ありがとうございます。ということでしたら、先ほどの御答弁の中で、スタッフの方に言っていたら裏のスペースにということなんですけれども、そういった表記とかはされていらっしゃるんでしょうか。

○委員長（高橋都君） 門司港レトロ課長。

○門司港レトロ課長 すみません。表記をしているかどうかについては確認してございません。申し訳ございません。

○委員長（高橋都君） 有田委員。

○委員（有田絵里君） ありがとうございます。ユニットの御検討もということなんですけれども、今既にない状態ということで、私も授乳経験がありますので、授乳室がない場所はもう、親としてはなかなか言いづらいというか、誰に言ってもいいかも分からないし、そもそもないのであれば、そこでできないんだなあって思って、もう車ですとか、別のところに行って探すとかしらないといけなくなるんですよね。特別対応なのかどうか分からないんですけれども、今そういうふうに御対応されていらっしゃるんだったら、表に出していないようなのであれば、スタッフにお声かけいただきましたらみたいなのを、例えばお手洗いの近くに何か貼っていただけたらとか、お気軽にというふうに分かるようにしていただけたら、御来場いただいた方々も安心してスタッフの方にお声かけできるのかなと思いますので、ぜひこれは要望させていただきます。お願いいたします。

○委員長（高橋都君） ほかに質疑はありませんか。

ほかになれば、以上で議案の審査を終わります。

明日も午前10時に開会します。

本日は以上で閉会いたします。

都市ブランド教育委員会	委員長	高橋	都	印
	副委員長	小宮	けい子	印